

ID番号 @PATIENTID

病名（他に考える病名）

担当医師 @USERNAME

印

氏名 @PATIENTNAME 様

入院診療計画書(胃切除術を受ける患者様へ)

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

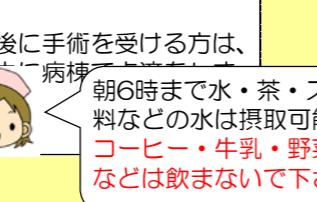
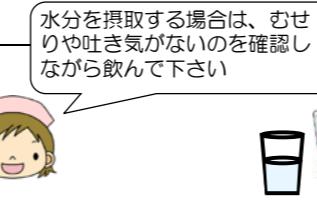
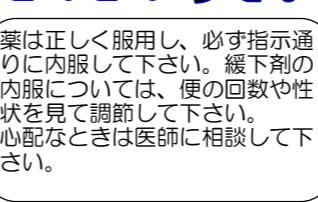
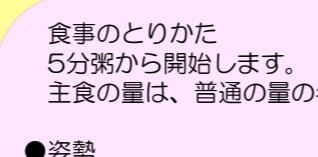
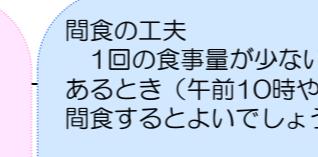
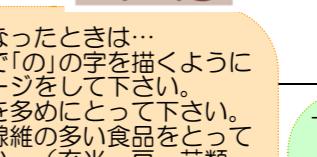
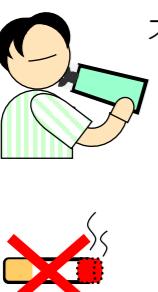
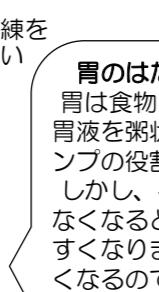
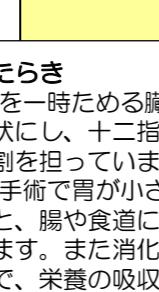
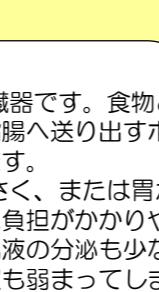
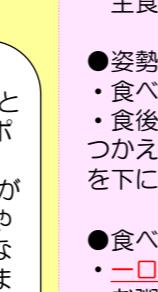
号室

症状

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

| 月日 | 術前日 (/) | 手術日(/) | 術翌日 (/) | 術後2日～3日目 (/) | 術後4日～6日目 (/) | 術後6日目以降退院日 | |
|--------------|--|--|--|--|---|---|---|
| | | 術前 | | | | | |
| 経過 | 検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。 | ()時に手術室へ移動します。 | 術後は病室に帰ります。 | 水分開始になります。内服が開始になります。 | 食事が開始になります 4人部屋へ移動します | 安全に日常生活の範囲を拡大ていきましょう | |
| 目標 | 手術の必要性を理解できる | 手術室へ行くまでの流れ □麻酔科医師の指示の内服薬があれば、服用してください | 痛みは我慢せずに、スタッフに知らせるようにしましょう。 スタッフと一緒に、少しでもリハビリを行いましょう。ベッドサイドに立てるようにしましょう。 | 痛みは我慢せずに、スタッフに知らせるようにしましょう。前日よりも、リハビリがすすめられるように頑張りましょう。 | 退院後の生活について疑問点がある場合は、看護師に相談しましょう。 |  | |
| 検査 | レントゲン | | 採血・レントゲン (レントゲンはお部屋でとります) | 必要に応じて採血・レントゲン | | | |
| 処置 |  入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください | 手術前日の流れ □おへその掃除をします □入浴(シャワー) □肩に名前を書きます(医師) | □前あきの下着、病院のパジャマに着替えてください □弾性ストッキングをはいてください(看護師が用意します) □義歯、めがね、時計、指輪などを外して下さい。 □貴重品は、ご家族の方へお渡しください |  口前あきの下着、病院のパジャマに着替えてください □弾性ストッキングをはいてください(看護師が用意します) □義歯、めがね、時計、指輪などを外して下さい。 □貴重品は、ご家族の方へお渡しください | 初めて歩行する時は、看護師が付き添います。 術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。  尿の管と胃の管 酸素と心電図モニター | 創部の管が抜けます 痛み止めの管が抜けます | 以下の症状があるときは受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時。 ・排便、排ガスがなく、お腹の張りが続いている時。 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時。 ・黒い便が出た時。 ・高熱が出たり微熱が何日も続くような時。 わからない点、疑問点がありましたら、何でも医師や看護師に相談してください。 外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。 |
| 注射 | ありません | | | | | | |
| 内服 | 飲んでいるお薬は、全て看護師にお知らせ下さい。 病棟薬剤師もお薬を確認します。 | | | | | | |
| 食事 |  水分は、1日1000mlを目安に補給してください。  |  水分を摂取する場合は、むせりや吐き気がないのを確認しながら飲んで下さい コーヒー・紅茶を摂取したい場合は、空腹時は避け、食後に薄めのものを少量とるようにしましょう。 たばこは、胃液の分泌を抑え胃粘膜を刺激しますので、禁煙を続けましょう。 | |  薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。緩下剤の内服については、便の回数や性状を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談して下さい。 |  どんどん歩きましょう。 | たばこは、胃液の分泌を抑え胃粘膜を刺激しますので、禁煙を続けましょう。 コーヒー・紅茶を摂取したい場合は、空腹時は避け、食後に薄めのものを少量とるようにしましょう。 職場復帰、旅行などは医師に相談してください。 | |
| 清潔行動 | 活動、入浴に制限はありません。  | 病棟を離れるときは、看護師にお知らせ下さい。 足の底背屈運動を行って下さい。 血栓予防になります | |  食事を摂取しない間も、口の中は清潔にしましょう |  シャワー浴ができるまで、体拭きをお手伝いします。 |  シャワーの時は、きずの部分をこすらずに、シャワーで流すようにしましょう。 | 入浴のときは… 熱いお湯は体の疲労を伴います。 長湯にならないようにしましょう。 |
| 説明 | 病棟での日常生活を説明します 手術の予定や経過について説明します | 麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります | | 食事のとりかた 5分粥から開始します。 主食の量は、普通の量の半分から開始します。  ●姿勢 ・食べるときはベッドを起こすか、椅子に座りましょう。 ・食後30分～1時間は消化を助けるため安静が必要です。 つかえた感じのあるときは、胃の通過を助けるため右側を下にして横になるか、座って様子をみましょう。 ●食べ方・速さ ・一口ずつ、ゆっくり、良く噛んで食べましょう。 ・お粥だけではいけないならないよう、おかずから箸を | 間食の工夫 1回の食事量が少ないため、空腹感があるとき(午前10時や午後3時頃)に間食するとよいでしょう。  ○間食してよいもの ・重湯のとき・・・ジュース(炭酸を含まないもの)、乳製品を少しづつ ・3～5分粥・・・プリン、ヨーグルト、卵豆腐、カステラ、ビスケット、バナナ、メロン ・7分粥から・・・果物全般、消化のよいもの |  便秘になったときは… ・腹部で「の」の字を描くようにマッサージをして下さい。 ・水分を多めにとって下さい。 ・食物繊維の多い食品をとってください。(玄米・豆・芋類・果物・バナナなど) ・お腹のはりは食事の進みにくいう因になります。湯たんぽなどでお腹を温め、腸の動きをよくしましょう。 ・歩行訓練は腸の動きをよくしますので、体調の良い時間をみて廊下歩行に努めましょう。 | 口次回予約票が渡されます。 ロットドリフトを外します。 口栄養指導があります |
| 胃の手術を受けられる方へ |  スフル呼吸訓練を行って下さい  必ず禁煙して下さい。 |  胃のはたらき 胃は食物を一時ためる臓器です。食物と胃液を粥状にし、十二指腸へ送り出すポンプの役割を担っています。 しかし、手術で胃が小さく、または胃がなくなると、腸や食道に負担がかかりやすくなります。また消化液の分泌も少なくなるので、栄養の吸収も弱まってしまいます。 | |  ●姿勢 ・食べるときはベッドを起こすか、椅子に座りましょう。 ・食後30分～1時間は消化を助けるため安静が必要です。 つかえた感じのあるときは、胃の通過を助けるため右側を下にして横になるか、座って様子をみましょう。 ●食べ方・速さ ・一口ずつ、ゆっくり、良く噛んで食べましょう。 ・お粥だけではいけないならないよう、おかずから箸を |  ●姿勢 ・食べるときはベッドを起こすか、椅子に座りましょう。 ・食後30分～1時間は消化を助けるため安静が必要です。 つかえた感じのあるときは、胃の通過を助けるため右側を下にして横になるか、座って様子をみましょう。 ●食べ方・速さ ・一口ずつ、ゆっくり、良く噛んで食べましょう。 ・お粥だけではいけないならないよう、おかずから箸を |  ●姿勢 ・食べるときはベッドを起こすか、椅子に座りましょう。 ・食後30分～1時間は消化を助けるため安静が必要です。 つかえた感じのあるときは、胃の通過を助けるため右側を下にして横になるか、座って様子をみましょう。 ●食べ方・速さ ・一口ずつ、ゆっくり、良く噛んで食べましょう。 ・お粥だけではいけないならないよう、おかずから箸を | 下痢になったときは… ・腹部の保温(腹巻き使用) ・脱水になりやすいので、水分を補給しましょう。 ・温かい消化の良い食べ物を摂取しましょう。(お粥・煮込みうどん・葛湯・ヨーグルトなど) ・以前より下痢を起こしやすかった食べ物は、術後も控えましょう。 |

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No.220-1、No. 220-2) 承認月日 (平成27年10月27日)

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

統査：

| 特別な栄養管理の必要性 |
|-------------|
| 有 · 無 |